

調査報告書

- 1 とき：2013年3月9日
- 2 行先：女性会館
- 3 参加者：岡田ゆき子
- 4 主な内容
 - ・ 来年度予算で、男女平等参画推進センターの移転費、女性会館改修費が計上されていることから、当局の設計図を下に、女性会館の実際の様子見ながら考察した。
 - ・ 図書資料室の移動—管理室と印刷室と倉庫へ移動、閲覧コーナーは談話室へ移動→図書館から遠隔な場所に閲覧コーナーを設けているが、談話室での会話（若い方が多い）喫茶店の客の声など、読書閲覧の環境になるのか。
 - ・ 女性会館談話室—比較的若い方の利用が多い。情報センターのコーナーは高齢者の利用が多い「静かだから」選択している理由がある。→今度情報センター1階に談話室が入ることで、ゆっくり談話食事ができるのか
 - ・ 部屋数は、昨年11月の書簡では23室との説明から、さらに部屋の工夫で28室にしている→少人数部屋が増えている。利用の希望がはけるのか。
 - ・ 図書資料の扱いは減らすとしているが、スペースの縮小でどれだけの削減になるのか。
 - ・ この4点で、統合案で、上記解決は困難と考える。
 - ・ 統合は市民サービスの後退につながるもの。